

# 2018年度公立高校入試 各校選考基準公表される

## HEAD LINE

小田原高校  
特色検査廃止！  
さらにバランス型へ移行

平塚江南高校  
特色検査比率を下げる

柏陽高校  
重点化廃止

1次選考は「バランス型」が過半数

§-1 選考基準全体動向

§-2 県立・市立進学重点校の動き

§-3 面接トピックス

2018(平成30)年度  
神奈川県全日制公立高校  
入学者選抜

- 学力検査・特色検査  
2月14日(水)
- 面接・特色検査  
2月14日(水)~16日(金)
- 合格発表2月27日(火)

# §-1 選考基準全体動向

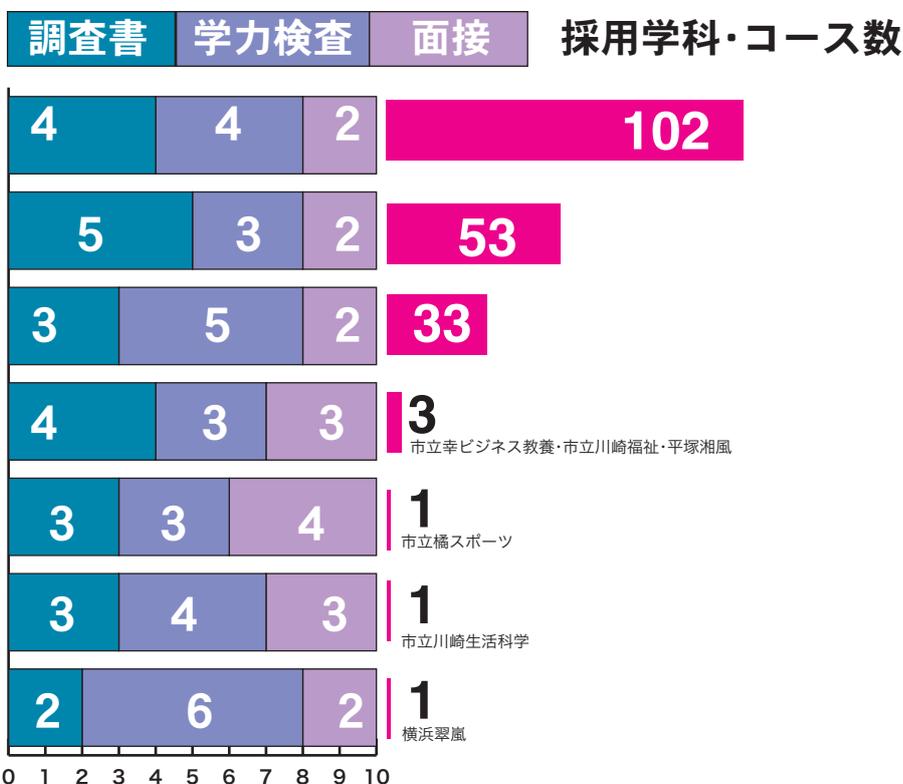
※全日制高校の第1次選考について

## 1次比率変更は8学科

県立高校改革 I 期が昨年からスタートし、学力検査を行うのは、昨年の196学科・コースから2つ減った194学科・コースです。

調査書・学力検査・面接の比率の組み合わせは全部で15パターン。今年は「6・2・2」採用がなくなり7パターンとなりました。調査書・学力検査・面接の比率を変更したのは7学科・コースにとどまり、過去最低です。最も多いのは調査書と学力検査が4割のバランス型で、全体の52.5%を占めます。小田原が「3・5・2」から「4・4・2」のバランス型へ移行しました。

### 第1次選考での比率



## 重点化は5増2減

調査書では各教科の数値を3教科まで2倍を限度に、学力検査では2教科まで2倍を限度に重点化できます。第1次選考でこの重点化を行うのは、59学科・コース(全体の29%)です。柏陽・藤沢工科で重点化を廃止する一方、氷取沢・海洋科学2コース・市立川崎(普通)・大師で重点化を採用しました。

### 重点化の例

学校名	学科名等	重点化(第1次選考)
神奈川総合	個性化	[学力検査] 点数の高い1教科×2
横須賀	普通科	[調査書] 英語、国語、数学×2
<b>NEW</b> 海洋科学	海洋科学科	[調査書] 国語、技術・家庭×2
<b>NEW</b> 大師	普通科	[調査書] 英語、国語、数学×2
<b>NEW</b> 市立川崎	普通科	[調査書] 英×1.5



## 特色検査は0増1減

学力検査に加え特色検査を実施するのは22学科・コース(クリエイティブスクール除く)です。小田原が廃止、平塚江南が比率を2から1へと減らしました。また市立川崎総合科学デザイン科が比率を2から3に引き上げました。

### 特色検査実施校 (クリエイティブスクール除く)

自己表現検査	横須賀・横浜緑ヶ丘・横浜翠嵐・希望ヶ丘・光陵・柏陽・湘南・厚木・平塚江南・神奈川総合(国際文化)・市立横浜サイエンスフロンティア
実技検査	市立川崎総合科学(デザイン)・市立横浜商業(スポーツマネジメント)・白山(美術)・上矢部(美術)・厚木北(スポーツ科学)・市立橋(スポーツ)・市立戸塚(音楽)・弥栄(スポーツ科学・音楽・美術)・横浜国際

# §-2 県立進学重点校エントリー校、市立進学重点校の動き

## 小田原が特色検査を廃止

県立進学重点校エントリー校は17校、横浜市立進学指導重点校は4校指定されています。特色検査を実施するのはそのうち10校です。

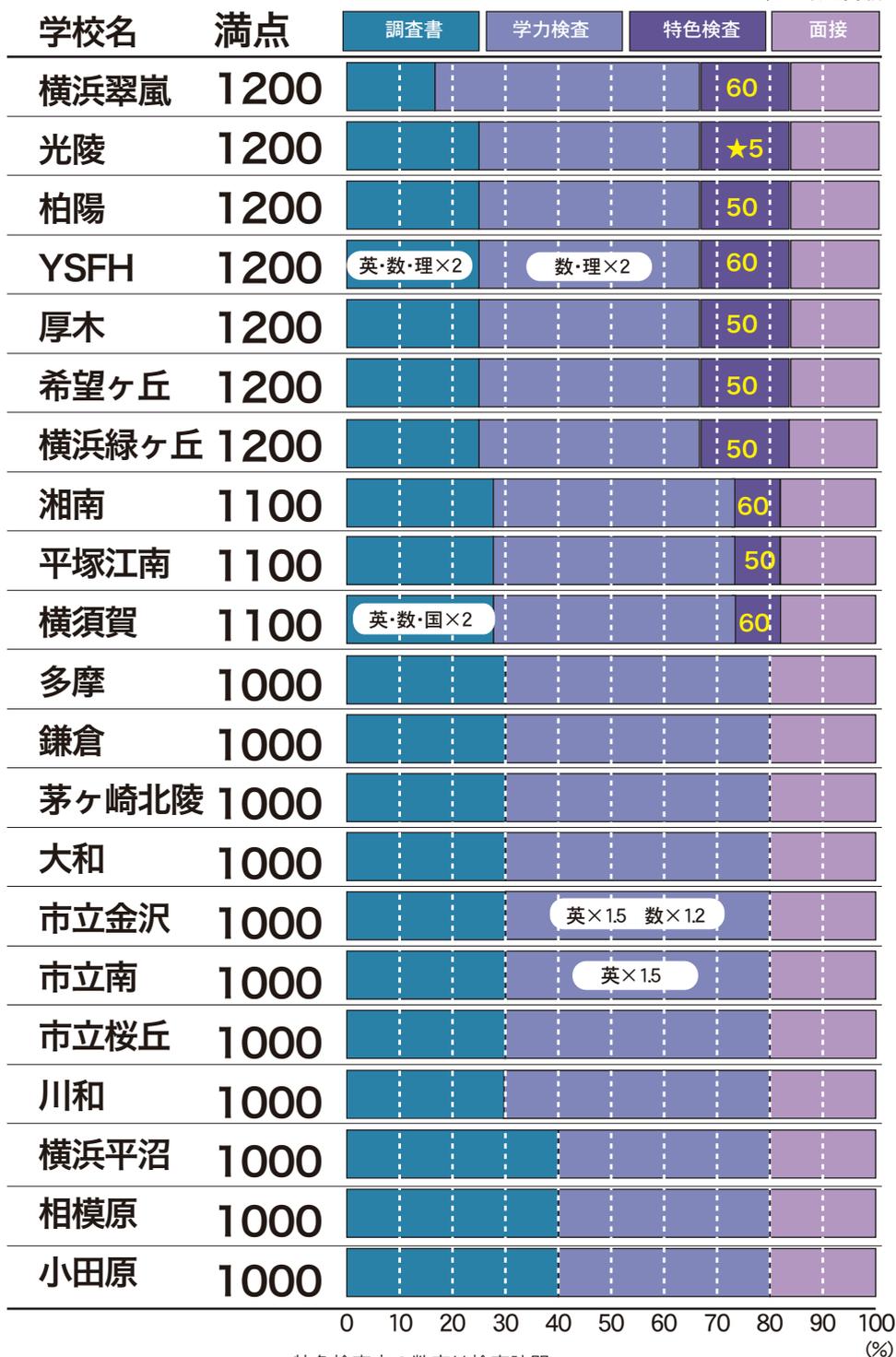
特色検査得点は調査書・学力検査・面接得点(計1000点満点)に加算されるため、たとえば調査書の比率が3割であっても実際は右表のように下がることとなります。

10校で実施される特色検査は、光陵のスピーチ以外すべて教科横断型のペーパーテスト、いわば適性検査の公立高校版です。

その「評価の観点」でほぼ共通するキーワードは「思考力」「表現力」。共通の検査でもそれらは今まで以上に重視されています。まずは各教科の知識と知識を活用する力をつけ、特色検査を到達目標にすえて学習をすすめたいものです。

県立進学重点校エントリー校、市立進学指導重点校の第1次選考比率

※調査書割合の低い順に掲載



特色検査内の数字は検査時間

★…検査当日、学校が提示した課題について、自らの考えなどを口頭で発表する

# §-3 面接トピックス

## 変更は8学科コース

面接の評価の観点を変更したのはわずか8学科・コースにとどまりず。5観点では「将来の展望」を生田が追加した以外に項目の変化はありません。また「その他の観点」では横浜桜陽が廃止、市立橘国際科と大師が追加しました。文の内容を変更したのは荏田・鶴嶺・市立橘普通科・市立橘スポーツ科でした。

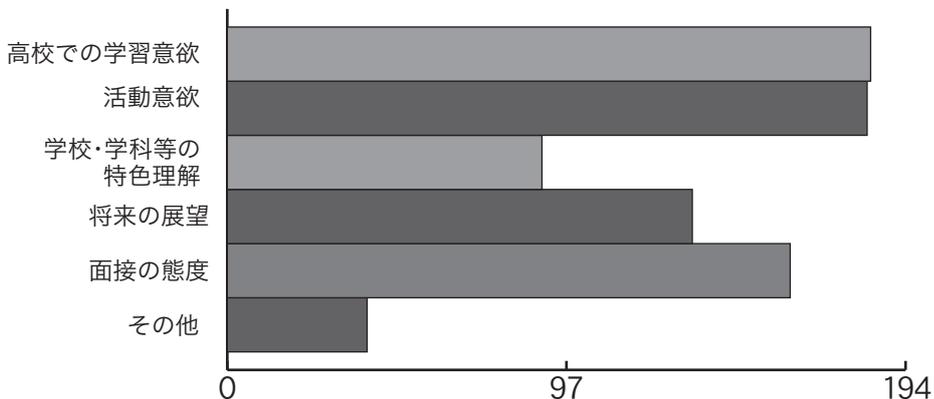
導入当初は手探りだった面接も、落ち着きを見せてきたといえます。

## 学校選びの参考に

新入試制度下での選考は5回を重ね、各校の選考基準の見直しは小規模にとどまっています。変更された学科・コースは県立高校改革による再編・統合や改編が中心です。

特色検査の実施有無や教科の重点化の内容など、各校の選考基準は「こういう生徒がほしい」というメッセージの表れでもあります。志望校選びに「早すぎる」はありません。中学1年生であっても、どんな高校がどんな特色を持っているのか、自分が興味を持てる、目標となる高校はどこか、ぜひ関心をもって調べてみましょう。

面接における「学校ごとの観点」採用数



【川和】教科学習と教科等以外の活動との両立に対して主体的に取り組む意欲  
【希望ヶ丘】部活動、生徒会活動等に対して取り組む強い意欲と高い志

## 神奈川県公立高校入試制度

中2と中3(2倍)の9科評定が資料です

2年後(3学期)	英	数	国	理	社	音	美	保	技	計
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	45×1=45
3年後(2学期)	英	数	国	理	社	音	美	保	技	計
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	45×2=90

各教科100点満点、5教科の学力検査です  
・2教科の範囲で1以上2以下の係数を乗じて重点化できます  
・特色検査を実施する場合は3教科まで減らすことができます

知識問題に加え思考力・判断力・表現力重視の検査です

**英語出題例**  
会話文を読み、計画を考え20語以上30語以内の英語2文で書く。  
【正答例】(I am going to)see Movie A with Hanako at Kamome Movie Theater in the morning. Then,I will meet Taro in front of the library at1:30p.m. and do our English homework.  
「正解は1つ」なら解答があればOK。でもこのような問題は自分の解答が正しいかどうかの判断力をつけることも大切。勉強の仕方が変わる！

出願時に提出する面接シートをもとに1人10分程度の個人面接を受けます。面接官は2人以上です

共通の観点(下)に加え学校ごとの観点を質問されます

3段階で評定し点数化されます

○入学希望の理由  
○中学校での教科等に対する学習意欲  
○中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲  
・学校ごとの観点は事前に公表されます

高校が独自に決定  
合計10になる2~6の整数  
調査書【100点満点】  
+  
学力検査【100点満点】  
+  
面接【100点満点】  
= S値【1000点満点】

特色検査【100点満点】×○1~5の整数 高校が独自に決定  
←【1100~1500点満点】

必要に応じて「実技検査」か「自己表現検査」の特色検査を実施できます

一次選考 定員の90%をS値順に選考  
一次選考 残り10%を調査書以外の資料で選考

新入試制度の導入の経緯・背景などは中萬学院ホームページで詳しく解説しています